

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

緊急総合経済対策に賛成 しました

地域経済活性化に無利子融資(3年間) 不十分ながら雇用対策も

雇用の破壊が進み、「派遣村」で越年することなど社会問題になりましたが、品川区は、年明け早々に中小企業対象の無利子融資などの緊急総合経済対策を発表。1月19日の臨時議会で日本共産党は賛成しました。同時に、雇用対策が不十分なのでこの点の拡充が今後の課題です。

対策のメインは中小企業融資

区が新たに提案する融資制度は、3年間の無利子融資です。共産党区議団が今までしきりに無利子で実施するよう求めてきましたが、実現できなかっただけに良かったと思います。具体的な制度を紹介します。

① 小規模企業向け緊急資金

製造業・従業員20人以下、卸売り、サービス業、小売業・5人以下。限度額は1250万円

② 中小企業緊急特別支援資金
限度額・設備2500万円、
運転資金1500万円

雇用はチョットお粗末

新聞報道では「延べ千人規模の雇用」とされていますが、実際は十分とはいえない内容です。たとえば、駅前放置自転車、道路にある

ミラーの清掃業務、歩道上にある袖看板の実態調査、水辺と緑の実態調査などで、期間も最長6ヶ月程度です。また、ホームヘルパー2級資格の取得に一人十万円支援。

雇用は生活の収入源だけにもっと充実させなくてはなりません。

公共工事と物品購入の発注を前倒し

公共工事の前倒しは、地域センターのトイレや電気などの改修、きゅりあん大ホールの証明設備の改修など。物品購入の前倒しは、中小企業センターのいす・机の買い替え、保育園などの老朽備品の買い替えなどです。

暮らしの実態調査なし に対策できないはず・・・

総務委員会では南は、「緊急対策を打ち出した理由は何か」と質問すると、区は、昨年9月以降の景気の悪化で、区

民生活と地域経済に深刻な影響が出ていることを理由に挙げました。この認識は当然のことですが、そうであるなら、今一番の問題になっている雇用を重視するべきだと思います。

続いて、派遣切りにあっている区民がどのくらいいるのか、どのような生活になっているのかなど、実態調査をするべきだと思い、実態調査と対策本部の設置について見解を聞きましたが、「考えていない」というものでした。この質疑をおして、区はどこまで区民生活を守ろうとしているのか真意がわかりませんでした。

10年に一度の不況下、生命と暮らしを守る区政に雇用の破壊は今後も続くので、自治体は生命と暮らしを守る立場に徹底すべきです。

商店街の装飾灯電気代が倍増に

緊急総合経済対策の中に、商店街装飾灯電気代がいままでの倍の額が補助されることがわかりました。繰り返し取り上げていたのですね。うれしいお知らせです。

区は、商店街支援と区内経済の活性化対策の両面から、

商店街装飾灯の電気代をさらに支援することを明らかにしました。歓迎です。商店街のみなさんも喜んでいました。

実施は4月から

補助割合は今までは3割でしたが、4月以降は6割になります。不況で売り上げが伸びないなか、なんとか営業を続けています。いる商店にとって朗報です。商店の経営をやめて店を閉めても、電気代だけは払っている方の中にはいると聞きました。本当に良かったと思います。

緊急総合経済対策

品川ブロック小中一貫校計画(品川小学校・城南中学校)がこっそり入る

区は公共工事を前倒して発注するといって緊急総合経済対策を組みましたが、品川ブロックの小中一貫校計画を進めるための解体工事費(2981万円)も計上していました。

日本共産党区議団は、子どもや親たちの願いにとって一貫校の教育は反するところが多いと考えていますので、この部分の予算計上は賛成できないと意見を述べて、緊急総合経済対策案には賛成しました。